

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 三共生興株式会社

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川崎賢祥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 下川浩一 (TEL) (06) 6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	12,912	△2.2	881	47.2	1,141	42.1	885	51.9
30年3月期第2四半期	13,202	△5.5	598	△8.2	803	△1.6	583	△0.6

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,654百万円(△21.8%) 30年3月期第2四半期 2,115百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	19.76	—
30年3月期第2四半期	12.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	53,092	38,330	71.5
30年3月期	54,343	37,822	68.9

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 37,959百万円 30年3月期 37,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	15.00	15.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△5.1	1,300	△40.1	1,800	△32.1	1,200	△34.4	26.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	60,000,000株	30年3月期	60,000,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	15,737,398株	30年3月期	14,737,398株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	44,834,031株	30年3月期2Q	45,262,603株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな景気回復基調が続く一方、海外経済の不確実性や為替・株式市場の不安定さへの懸念、また豪雨、台風、地震などの自然災害が発生するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、高額商材を中心としたインバウンド需要は増加傾向にあり、個人消費も緩やかに改善しているものの、消費者の衣料品に関する購買行動の多様化と依然として根強い節約志向により、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、主力ブランドである「DAKS」のブランド価値の更なる向上に取り組み収益拡大を図る一方で、徹底した経営の効率化を継続して推し進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比2.2%減の12,912百万円、営業利益は前年同期比47.2%増の881百万円、経常利益は前年同期比42.1%増の1,141百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比51.9%増の885百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① ファッション関連事業

国内事業は、百貨店等の衣料品販売が引き続き苦戦している中、顧客ファーストを最優先し、経営効率を重視する事業構造改革を進めてまいりました。店舗ごとの収益性を精査し、前期における不採算店からの撤退の影響により減収となったものの、家賃・人件費等の徹底した経費削減の効果があり増益となりました。

海外事業は、香港において大型店舗の出退店により減収となったものの、家賃等の経費の圧縮に努め増益となりました。また、中国市場への販売においては、引き続き市況は厳しく、新規店舗の出店分を加えても減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比9.8%減の6,100百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比134.9%増の581百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業は、厳しい市況が続く中、取引先との取組を強化し、付加価値の高い新規商材の開発や安定的な商品供給に努めております。当連結会計年度においては、重点得意先の新ブランドとの取組による受注増などにより増収となりましたが、物流コスト等の増加や為替の影響などもあり、減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比5.4%増の6,140百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比6.6%減の225百万円となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産に係る賃貸事業は、稼働率は向上してまいりましたが、内装工事等の減少があり、当事業全体の売上高は前年同期比6.9%減の1,121百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比10.4%増の322百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,287百万円(11.8%)減少し、17,145百万円となりました。これは、現金及び預金が2,820百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が364百万円増加、商品及び製品が218百万円増加したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,036百万円(3.0%)増加し、35,946百万円となりました。これは、投資有価証券が1,030百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,995百万円(19.8%)減少し、8,060百万円となりました。これは、短期借入金が1,480百万円減少、未払法人税等が330百万円減少、未払費用が189百万円減少、1年以内返済予定の長期借入金が160百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が314百万円増加したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて234百万円(3.6%)増加し、6,700百万円となりました。これは、繰延税金負債が215百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて508百万円(1.3%)増加し、38,330百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が654百万円増加、利益剰余金が207百万円増加した一方、自己株式の取得により463百万円減少したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて3,038百万円減少(前第2四半期連結累計期間は250百万円の減少)し、当第2四半期連結会計期間末には、7,848百万円(前第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は8,818百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が1,129百万円、仕入債務の増加額が297百万円となった一方で、法人税等の支払額が543百万円、売上債権の増加額が354百万円、たな卸資産の増加額が191百万円あったことなどにより、320百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は991百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が290百万円、定期預金の預入による支出が211百万円、投資有価証券の取得による支出が102百万円あったことなどにより、604百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は164百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額が1,480百万円、配当金の支払額が676百万円、自己株式の取得による支出が463百万円、長期借入金の返済による支出が160百万円あったことなどにより、2,803百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は1,121百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績につきましては、平成30年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,886	8,065
受取手形及び売掛金	4,557	4,922
商品及び製品	3,539	3,758
仕掛品	5	1
原材料及び貯蔵品	6	4
未収還付法人税等	24	—
その他	569	553
貸倒引当金	△157	△160
流動資産合計	19,433	17,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,736	7,624
土地	3,166	3,166
その他(純額)	268	428
有形固定資産合計	11,171	11,219
無形固定資産		
商標権	4,320	4,311
その他	286	259
無形固定資産合計	4,607	4,571
投資その他の資産		
投資有価証券	18,526	19,557
退職給付に係る資産	12	12
その他	610	599
貸倒引当金	△18	△13
投資その他の資産合計	19,131	20,155
固定資産合計	34,910	35,946
資産合計	54,343	53,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,146	3,460
短期借入金	4,300	2,820
1年内返済予定の長期借入金	320	160
未払費用	946	757
未払法人税等	550	219
その他	791	642
流動負債合計	10,055	8,060
固定負債		
繰延税金負債	5,019	5,234
退職給付に係る負債	542	523
その他	904	942
固定負債合計	6,466	6,700
負債合計	16,521	14,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,168
利益剰余金	26,234	26,441
自己株式	△5,235	△5,698
株主資本合計	30,167	29,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,318	9,972
繰延ヘッジ損益	△21	20
為替換算調整勘定	△2,008	△1,944
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	7,287	8,047
非支配株主持分	367	371
純資産合計	37,822	38,330
負債純資産合計	54,343	53,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	13,202	12,912
売上原価	7,978	8,028
売上総利益	5,223	4,883
販売費及び一般管理費	4,624	4,001
営業利益	598	881
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	238	269
為替差益	—	2
その他	20	20
営業外収益合計	260	295
営業外費用		
支払利息	17	10
店舗等除却損	4	16
為替差損	19	—
その他	15	7
営業外費用合計	56	35
経常利益	803	1,141
特別利益		
投資有価証券売却益	47	—
特別利益合計	47	—
特別損失		
減損損失	24	12
投資有価証券売却損	8	—
特別損失合計	32	12
税金等調整前四半期純利益	818	1,129
法人税、住民税及び事業税	250	282
法人税等調整額	△22	△46
法人税等合計	228	235
四半期純利益	590	893
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	583	885

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	590	893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,009	654
繰延ヘッジ損益	6	41
為替換算調整勘定	507	64
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	1,525	760
四半期包括利益	2,115	1,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,108	1,646
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	818	1,129
減価償却費	302	298
減損損失	24	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	△2
受取利息及び受取配当金	△240	△272
支払利息	17	10
固定資産売却損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△312	△354
たな卸資産の増減額(△は増加)	△235	△191
仕入債務の増減額(△は減少)	513	297
投資有価証券売却損益(△は益)	△39	—
役員退職慰労金の支払額	△7	—
役員賞与の支払額	△64	△70
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	△18
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5	△106
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△35	—
その他	△38	△130
小計	711	602
利息及び配当金の受取額	240	272
利息の支払額	△17	△10
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	57	△543
営業活動によるキャッシュ・フロー	991	320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△142	△211
有形固定資産の取得による支出	△125	△290
有形固定資産の売却による収入	1	—
投資有価証券の取得による支出	△2	△102
投資有価証券の売却による収入	114	—
その他	△9	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164	△604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△252	△1,480
長期借入金の返済による支出	△160	△160
自己株式の取得による支出	△0	△463
配当金の支払額	△677	△676
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△27	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,121	△2,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△250	△3,038
現金及び現金同等物の期首残高	9,069	10,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,818	7,848

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,750	5,420	1,031	13,202	—	13,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	403	172	587	△587	—
計	6,761	5,823	1,204	13,789	△587	13,202
セグメント利益	247	241	292	781	△182	598

(注) 1. セグメント利益の調整額△182百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△204百万円及びセグメント間取引消去等22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	24	—	—	—	24

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,082	5,837	992	12,912	—	12,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	302	129	449	△449	—
計	6,100	6,140	1,121	13,361	△449	12,912
セグメント利益	581	225	322	1,129	△247	881

(注) 1. セグメント利益の調整額△247百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△199百万円及びセグメント間取引消去等△48百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	12	—	—	—	12

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業管理区分の変更に伴い、従来の「不動産賃貸事業」と「その他」のビルメンテナンス事業、内装工事業等を集約し、セグメントの名称を「不動産関連事業」へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。